

# 神戸大学 大学文書史料室

Kobe University Archives

神戸大学百有余年の  
伝統ある歴史が  
今ここに…



年次報告書 令和元(平成31)年度

## ご挨拶

神戸大学大学文書史料室は、平成 22 年 4 月 1 日に設置された神戸大学公式アーカイブズです。その目的は、本学の法人文書のうち歴史資料として重要な文書として移管されたもの、寄贈・寄託されたもの、その他本学の歴史に係る資料を保存するとともに、一般の利用に供することにより、国から「国立公文書館等」（＝国立公文書館に類する機能を有する施設）に指定されています。

本報告書は、令和元（平成 31）年度に大学文書史料室が実施した様々な事業を整理したものであり、いわば各事業の実績に関する自己評価に相当するものです。本報告書を通して、多くの方々に大学文書史料室の活動をご理解いただくとともに、これからの大学文書史料室の運営に関して忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

## 目次

### 1. 法人文書移管受入れ等

1-1. 法人文書移管協議 .....	1
1-2. 法人文書等の受入れ状況 .....	2
1-3. 目録入力 .....	3

### 2. 利用状況等

2-1. 利用状況 .....	4
2-2. デジタル・アーカイブの充実及び史料原本保護のための電子化 .....	5
2-3. 展示会の開催 .....	6
2-4. 他機関等からの見学受入れ .....	8

### 3. 研修その他

3-1. 研修の実施 .....	9
3-2. その他 .....	10

沿革 .....

歴代大学文書史料室長 .....

令和元（平成 31）年度 評価と課題 .....

大学文書史料室概要（令和 2 年 4 月 1 日）

本報告書は、令和元（平成 31）年度における神戸大学大学文書史料室の活動をまとめたものです。数値は令和 2 年度第 1 回大学文書史料室運営委員会に提出した令和 2 年 3 月末時点のものを基本とするため、移管件数等については後日内閣府から発表される数値（令和 2 年 7 月末確定）と若干の差異が生じます。

# 1. 法人文書移管受入れ等

## 1-1. 法人文書移管協議

### 【事業計画※】

(※平成 31 年 3 月 18 日大学文書史料室運営委員会承認)

平成 31 年度法人文書移管協議は、次のとおり実施する。

・年間スケジュール(予定)

8 月～2 月 全学の「法人文書ファイル管理簿」(総務部総務課の取りまとめにより 7 月末頃完成予定。)を基礎データとして「法人文書移管協議のための台帳(移管協議台帳)」案を作成し、全学各部局との移管協議を実施する(法人文書の評価選別と現物確認を含む)。

2 月～3 月 移管・廃棄の措置について大学文書史料室運営委員会で審議決定し、その結果を室長名で総括文書管理者(事務局長)に報告する。

・対象

移管協議の対象は、次のとおりとする。

対象：平成 31 年度末(2020.3.31)に保存期間が満了するもの

- 令和元(平成 31)年度における法人文書移管協議は、当該年度末に保存期間が満了する神戸大学法人文書 3,715 件を対象に 2 月 14 日から 3 月 27 日までの約 1 ヶ月半実施され、移管 511 件(移管率 14%)、廃棄 2,462 件、保存期間延長 742 件(うち 579 件は審議保留(次年度以降に継続審議予定))が決定した。この協議結果に基づき、移管の受入れを令和 2 年度に実施予定である。

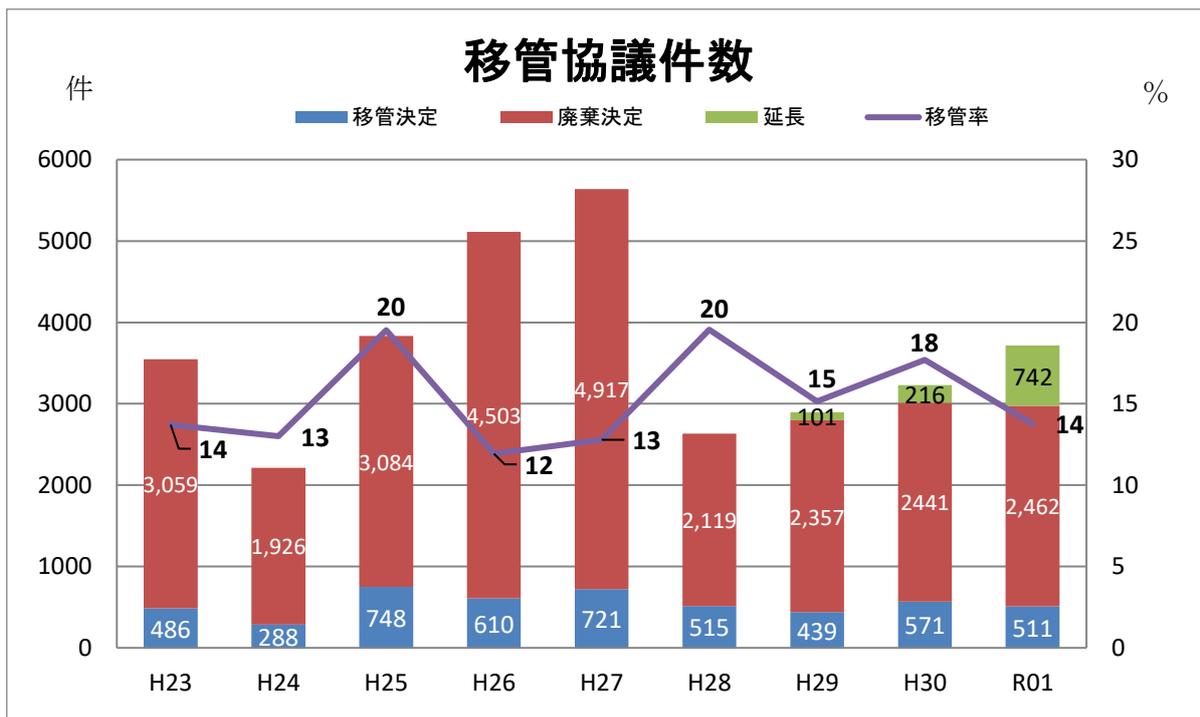
### 令和元(平成 31)年度法人文書移管協議の結果

移管協議の対象	総件数	協議結果			移管率	移管年度
		移管決定	廃棄決定	延長		
令和元年度末保存期間満了分	3,715 件	511 件	2,462 件	742 件	14%	R2

(注1) 「移管決定」の数値は、分冊や関連文書等をまとめて1件とする場合があるため、実際の冊数や受入れ後の目録入力件数とは異なる。

(注2) 延長 742 件のうち旧神戸商船大学文書 579 件は、令和元年度第 3 回大学文書史料室運営委員会(令和 2 年 3 月 13 日開催)において審議保留となり、次年度以降に継続審議(予定)となった。

(注3) 令和元年度第 3 回大学文書史料室運営委員会の審議終了時点では、移管決定 513 件、廃棄決定 2,462 件、延長 774 件、総件数 3,749 件であったが、その後、3 部局から修正があった(内訳:移管決定分から誤登録分 1 件を削除、移管決定から延長に修正 1 件、延長分から誤登録分 33 件を削除)ため、上記の結果となった。



## 1-2. 法人文書等の受入れ状況

【事業計画】平成31年度における法人文書等の受入れは、次のとおり実施する。

- ・法人文書(平成30年度法人文書移管協議の結果に基づく移管受入れ)
  - 期間: 平成31年4月～6月末(予定) 対象: 平成30年度末(2019.3.31)に保存期間が満了したもの
- ・学内印刷刊行物
  - 期間: 平成31年4月～6月末(予定) 対象: 平成30年度に作成された学内印刷刊行物
- ・個人・団体からの寄贈寄託文書等
  - 期間: 随時 対象: 神戸大学の歴史に係る資料全般
- ・その他の受入れ
  - 期間: 随時 対象: 他大学の年史などの寄贈図書(法的規制のない「参考図書」として受け入れる)

- ・令和元(平成31)年度における法人文書等の受入れ状況は、学内移管文書等 2,134 件、個人・団体からの寄贈寄託文書等 179 件(以上、公文書管理法第2条第7項が規定する「特定歴史公文書等」に該当。)、他大学史等の参考図書 11 件、計 2,324 件である。

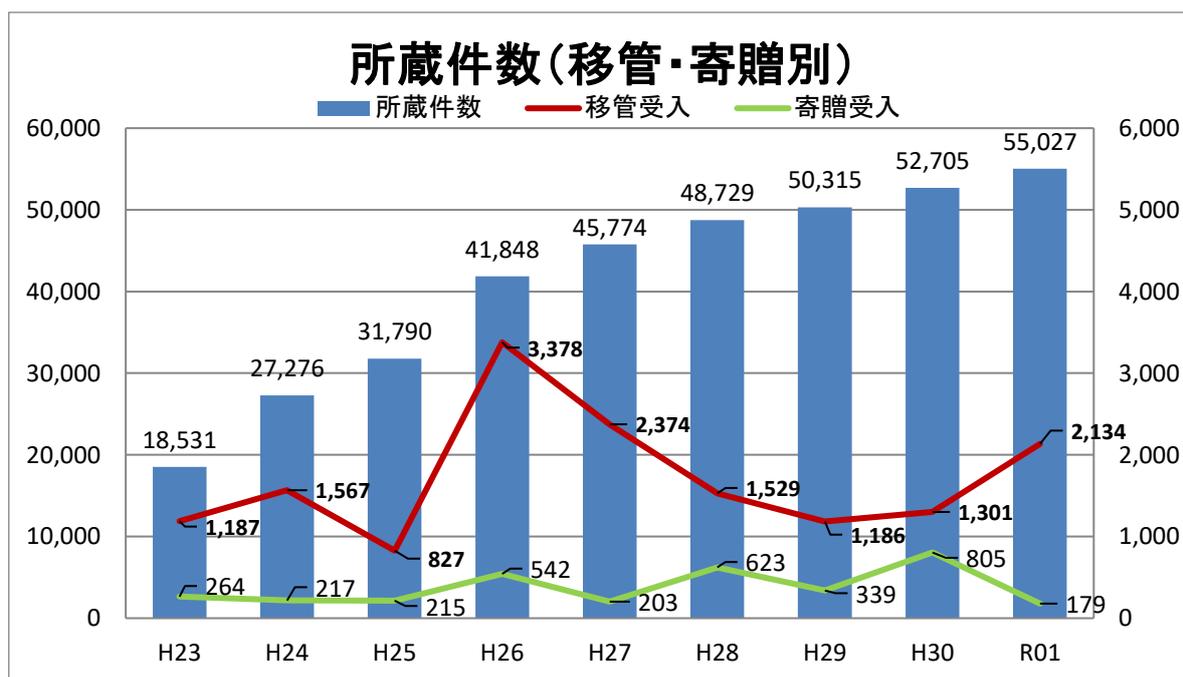
### 令和元(平成31)年度における法人文書等の受入れ状況

受け入れた法人文書等			受入れ件数	
特定歴史公文書等	学内移管文書等	法人文書(移管協議に基づく移管)	728 件	2,313 件
		法人文書(上記以外の移管)	23 件	
		学内印刷刊行物	1,383 件	
(小計)	2,134 件			
	個人・団体からの寄贈寄託文書等	179 件		
参考図書	寄贈図書のうち上記に該当しないもの(他大学史等)		11 件	
合計			2,324 件	

(注1) 「法人文書(移管協議に基づく移管)」の受入れ件数は、移管受入れ時点では 571 件だったが、分冊や関連文書等をまとめて1件としていたため、目録入力時に改めて分冊等ごとに1件としたことにより 728 件となった。

(注2) 「上記以外の移管」とは、神戸大学法人文書ファイル管理簿(神戸大学法人文書管理規則第10条)に未掲載の古い法人文書、職員手控え書類及び門標等のモノ資料を対象とした、移管協議を経由しない移管を指す。

(注3) 学内印刷刊行物 1,383 件には、旧神戸商船大学の印刷刊行物 792 件を含む。



### 1-3. 目録入力

【事業計画】平成31年度における目録入力は、次のとおり実施する。

なお、インターネット上の目録「神戸大学特定歴史公文書等データベース」は毎月定期的に更新する。

・対象

- ① 平成31年度に受け入れた法人文書
- ② 平成31年度に受け入れた学内印刷刊行物
- ③ 平成31年度に受け入れた個人・団体からの寄贈寄託文書等
- ④ 前年度に受け入れた個人・団体からの寄贈寄託文書等のうち、未整理分(受入後1年以内)
- ⑤ 平成31年度に受け入れた参考図書
- ⑥ 旧百年史編集室所蔵史料のうち、未整理の寄贈寄託史料(遡及入力)

なお、①～④は、受け入れ後1年以内の排架・公開を目指す。(大学文書史料室利用等要項3条2項)

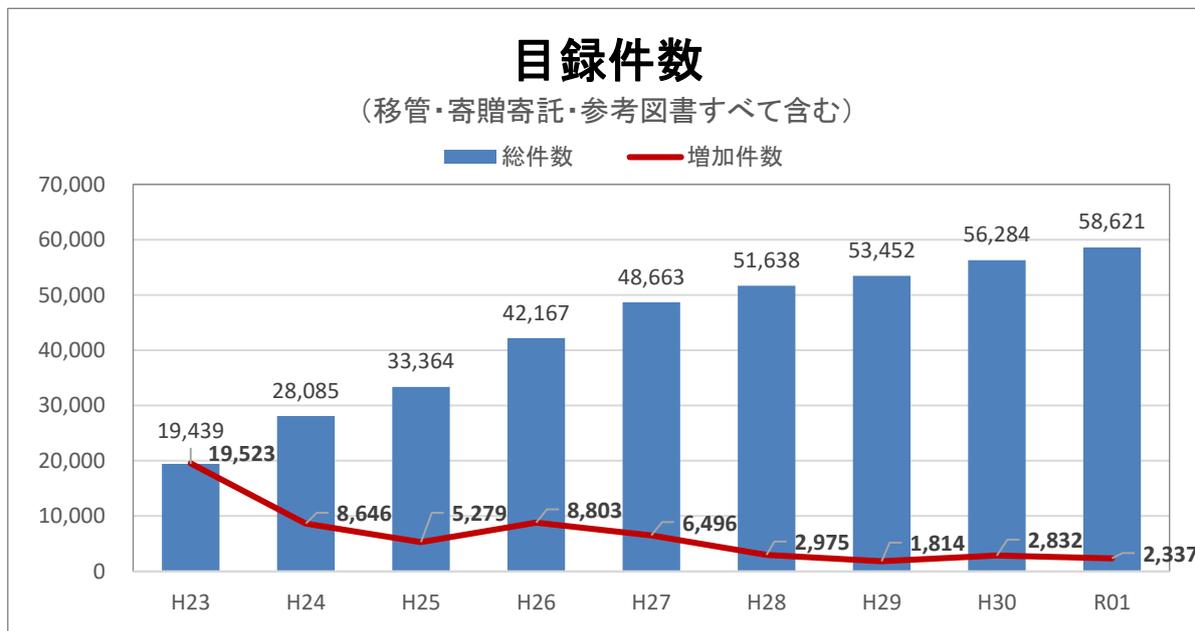
- ・ 令和元(平成31)年度における目録入力の件数は2,337件であり、目録総件数は58,621件となった。
- ・ インターネット上の目録「神戸大学特定歴史公文書等データベース」を毎月定期的に更新した。
- ・ 国立公文書館など全国の公文書館等19館(前年度より2館増加)との横断検索による連携を充実させるため、目録情報2,337件を追加提供した。

令和元(平成31)年度における目録入力実績の内訳

対象		目録入力件数
特定歴史公文書等	法人文書	752件
	学内印刷刊行物	1,386件
	(小計)	2,138件
	個人・団体からの寄贈寄託文書等	187件
参考図書	寄贈図書のうち上記に該当しないもの(他大学史等)	12件
[上記合計] 令和元年度目録入力件数(①)		2,337件
[参考] 平成22-30年度目録入力件数(②)		56,284件
目録総件数(①+②)		58,621件

(注1) 「目録」とは、「神戸大学特定歴史公文書等データベース」のことを指す。

(注2) なお、「目録入力件数」の数値は、受入れ時点の件数とは異なる場合がある(受入れ時点では、分冊や関連文書等をまとめて1件とする場合があるため)。また、平成30年度以前受入れ分の遡及入力の件数も含む。



## 2. 利用状況等

### 【事業計画】 利用請求等への対応

利用者からの利用請求、簡易閲覧申込み、写しの交付請求に対して迅速かつ確実な対応に努めるとともに、一般利用の促進を図るため、展示会の開催、見学者の受入れ、所蔵資料のデジタル化、国立公文書館との連携による横断検索目録の充実、レファレンス対応(問い合わせに対する史料調査・情報提供)等を積極的に行う。

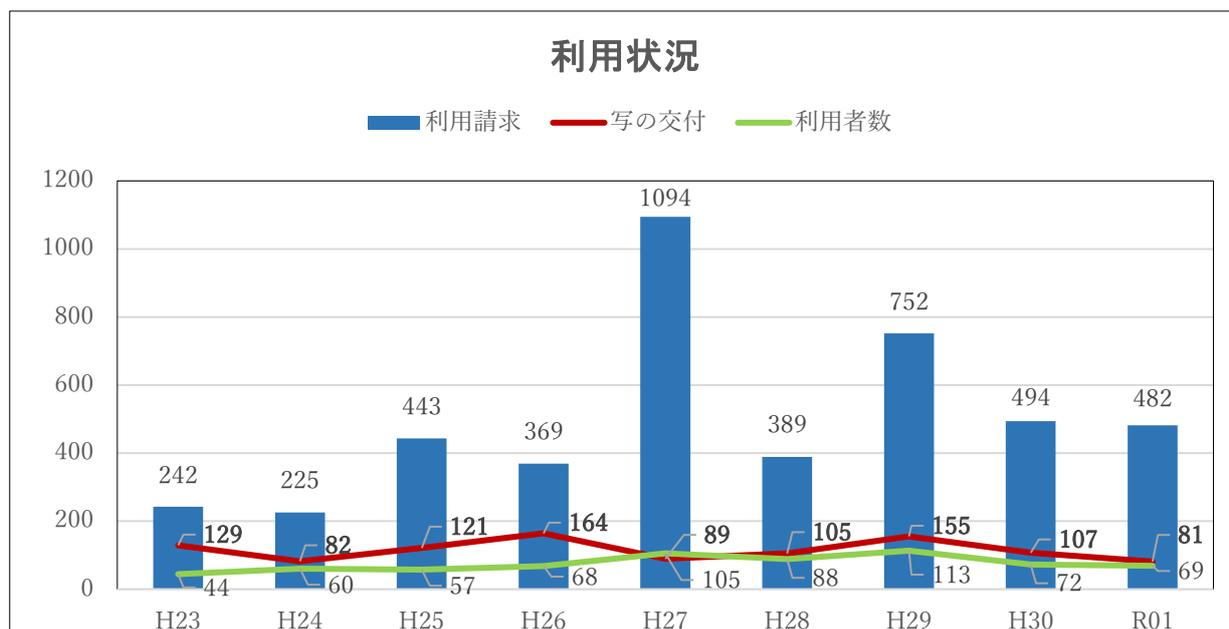
### 2-1. 利用状況

- 令和元(平成 31)年度における資料利用件数は、前年度より 12 件減少して 482 件(前年度比 98%)、利用者数は、前年度より 3 名減少して 69 名(前年度比 96%)であり、その内訳は下表のとおり。

令和元(平成 31)年度における利用状況

		利用者数	利用件数 (注)		
			閲覧(①)	写しの交付(②)	合計(①+②)
本学	教員	5名	45件	6件(65枚)	51件
	教員以外の職員	32名	177件	5件(16枚)	182件
	学生	5名	17件	10件(22枚)	27件
	旧教員	1名	2件	0件(0枚)	2件
	旧教員以外の旧職員	0名	0件	0件(0枚)	0件
	卒業生	6名	80件	13件(31枚)	93件
他大学	教員	13名	70件	32件(1,247枚)	102件
	教員以外の職員	0名	0件	0件(0枚)	0件
	学生	0名	0件	0件(0枚)	0件
一般	マスコミ	1名	0件	6件(6枚)	6件
	その他	6名	10件	9件(109枚)	19件
合計		69名	401件	81件(1,496枚)	482件

(注)「利用件数」の数値は、(1)公文書管理法第 16 条に基づく利用請求の件数、(2)同法第 24 条に基づく移管元部局による利用の特例の件数、(3)「特定歴史公文書等の保存、利用及び廃棄に関するガイドライン」第 22 条に基づく簡便な方法による利用の件数の(1)～(3)を合計した件数。



## 2-2. デジタル・アーカイブの充実及び史料原本保護のための電子化

**【事業計画】** 史料保存及び利用者の利便性を考慮して、所蔵文書等のデジタル画像の作成、インターネット公開、目録データベースとの連携によるデジタル・アーカイブの充実を図る。(特歴ガイドライン第22条第2項)

・対象

① 『神戸高等商業学校 学友会報』(印刷刊行物)

対象巻号: 第164号(大正12(1923)年1月刊)～第173号(同12月刊) 作業内容: デジタル画像作成。インターネット公開。平成26年度からの継続事業(ただし平成28、29年度は予算の都合で実施せず)。

② 卒業アルバム(印刷刊行物)

対象巻号: 旧制神戸高等商業学校・旧制神戸商業大学(作業冊数未定)

作業内容: デジタル画像作成。平成29年度からの継続事業。

③ 「昭和二十四年七月(第一回募集) 神戸大学各学部入学案内」(印刷刊行物)

対象巻号: 新制神戸大学第1回入学案内(昭和24(1949)年3月刊)の全学部分計8枚。

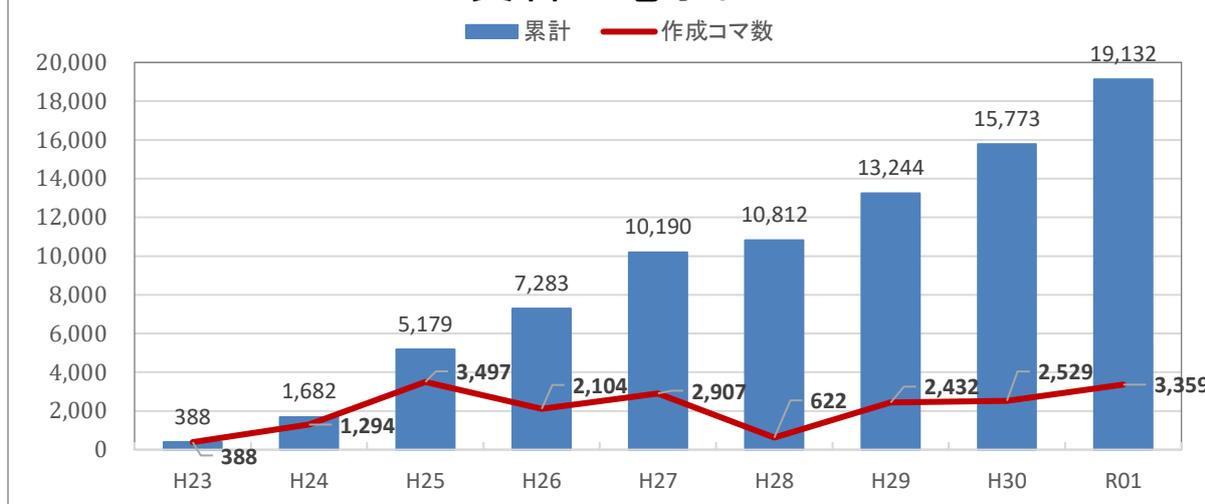
作業内容: デジタル画像作成。インターネット公開。

- デジタル・アーカイブの充実及び史料原本の保護を図るため、①現存唯一の「昭和二十四年七月(第一回募集) 神戸大学各学部入学案内」(全学部分計8枚)のデジタル画像8点、②社会科学系図書館所蔵の旧制神戸高等商業学校『学友会報』第164号～第173号(大正12年1月～12月刊)計10冊のデジタル画像242点、③旧制神戸高等商業学校・神戸商業大学の卒業アルバム(現存分)の内、大正13年～昭和3年、昭和5年、計6冊のデジタル画像1,385点、④劣化が著しい昭和20年代の『神戸大学新聞』原紙7件のデジタル画像14点、⑤社会科学系図書館所蔵『神戸大学新聞』マイクロフィルム4巻のデジタル画像1,710点をそれぞれ作成した。
- 新制大学発足70周年を記念して、上記①のデジタル画像のインターネットでの公開を3月より開始した。また、利用者の利便性を考慮して、利用度の高い上記②のデジタル画像のインターネットでの公開を11月より開始した。なお、インターネットによる電子化史料公開ページ「デジタル・アーカイブ」(<https://lib.kobe-u.ac.jp/archives/da/>)の令和元年度アクセス数は、1,557件(前年度比90%)であった。

令和元(平成31)年度における電子化事業の状況

対象	画像作成	WEB公開
・神戸大学「昭和二十四年七月(第一回募集) 神戸大学各学部入学案内」全学部分計8枚	8点	○
・旧制神戸高等商業学校『学友会報』第164～173号 計10冊	242点	○
・旧制神戸高等商業学校・神戸商業大学の卒業アルバム 計6冊	1,385点	
・『神戸大学新聞』原紙7件	14点	
・『神戸大学新聞』マイクロフィルム4巻	1,710点	
合計	3,359点	

## 資料の電子化



### 2-3. 展示会の開催

#### 【事業計画】

##### ・ 常設展

収蔵物を広く学内外に紹介するため、常設展「神戸大学史展—創立 1902(明治 35)年から現代まで—」を常時開催する(ただし特別展の開催期間を除く)。学内改組等により展示内容の更新が必要になる場合は、経費等を勘案し可能な範囲で迅速に対応する。

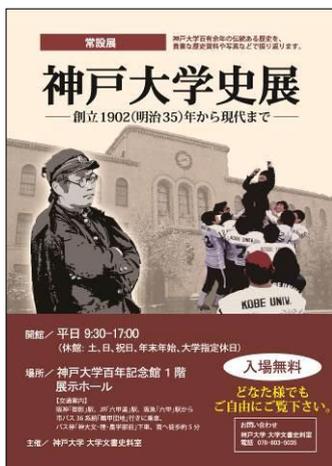
##### ・ 特別展・巡回展

- ① 第 14 回ホームカミングデイに合わせて特別展を開催する(10 月開催予定。テーマは別途検討)。
- ② 巡回展を 3 回開催する(神戸と東京において開催。11~12 月海事博物館、1 月東京六甲クラブ、2 月社会科学系図書館展示ホール開催予定。各会場の規模に合わせて特別展の内容を再構成)。

- ・ 収蔵物を広く学内外に紹介するため、常設展「神戸大学史展—創立 1902(明治 35)年から現代まで—」を常時開催(展示替え及び特別展の開催期間は除く)し、百有余年にわたる神戸大学の歴史に関する文書や実物資料、写真など 206 点を展示公開した。また、展示替えによる臨時休館期間を短縮するため、ミニ常設展(令和元年 10 月 2 日~10 月 18 日)を展示ホールに隣接する空きスペース(観覧スペース)で開催した。常設展の来場者数(ミニ常設展を含む)は、前年度より 709 名増加して 4,743 名(前年度比 118%)であった。
- ・ 令和元年度特別展及び巡回展(神戸 2 回、東京 1 回開催)は、新制大学発足 70 周年を記念して、「新制「神戸大学」の誕生—新制大学発足 70 周年記念—」をテーマに、昭和 24 年に誕生した新制「神戸大学」の黎明期の諸相を貴重な歴史資料や写真などで取り上げた。事前にテーマに係る史料の調査研究を実施し、その成果を展示に活用した。特別展の来場者は、前年度より 151 名減少して 1,013 名(前年度比 87%)、巡回展の来場者数は、前年度より計 1,444 名減少して計 4,868 名(前年度比 77%)であった。なお、特別展来場者アンケート集計によれば、回答者 122 名中、とても満足 56 名(46%)、満足 64 名(52%)、やや不満 2 名(2%)であり、総合的な満足度 98%の高評価を得た。

令和元(平成31)年度における展示活動の状況

種類	展示テーマ	開催期間	会場	来場者数
常設展	神戸大学史展－創立 1902(明治35)年から現代まで－	常時(展示替、特別展開催時を除く)	神戸大学百年記念館 1階 展示ホール	4,743 名
	ミニ常設展	R01.10.02(水)－ R01.10.18(金)	神戸大学百年記念館 1階 観覧スペース	
特別展	新制「神戸大学」の誕生 －新制大学発足 70 周年記念－	R01.10.24(木)－ R01.11.15(金)	神戸大学百年記念館 1階 展示ホール	1,013 名
巡回展 (神戸Ⅰ)	新制「神戸大学」の誕生 －新制大学発足 70 周年記念－ パネル展	R01.11.27(水)－ R01.12.11(水)	神戸大学海事博物館	171 名
巡回展 (東京)	新制「神戸大学」の誕生 －新制大学発足 70 周年記念－ パネル展	R02.01.06(月)－ R02.01.27(月)	神戸大学東京六甲クラブ	650 名
巡回展 (神戸Ⅱ)	新制「神戸大学」の誕生 －新制大学発足 70 周年記念－	R02.02.07(金)－ R02.03.09(月)	神戸大学社会科学系図書館2階展示ホール	4,047 名
合計				10,624 名



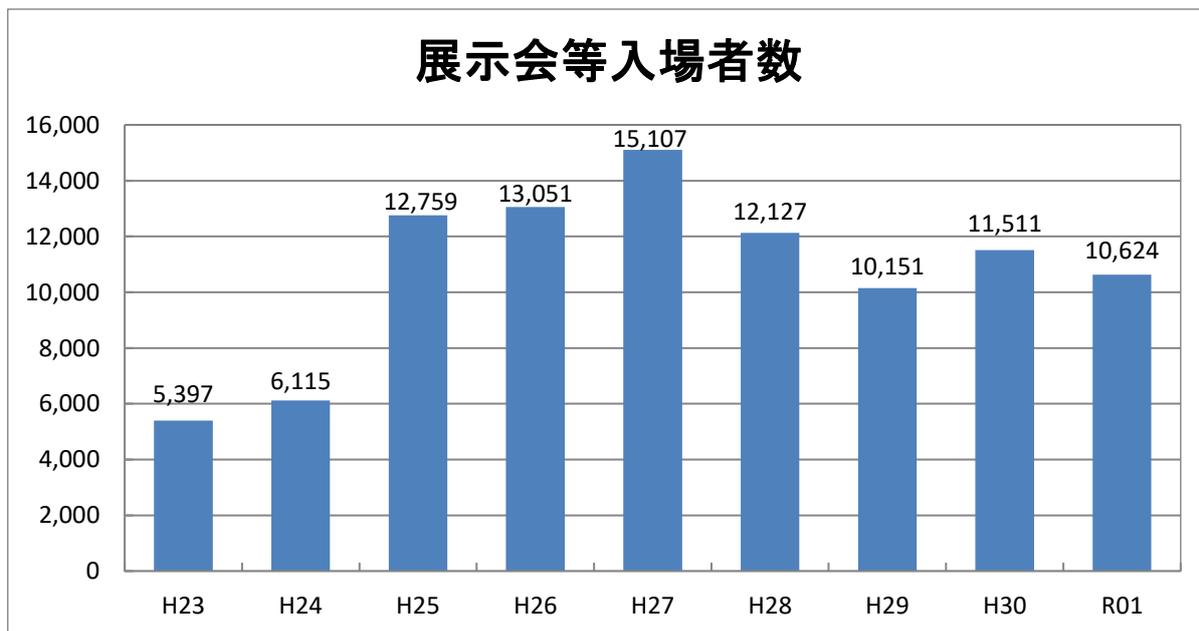
(常設展の案内チラシ)



(特別展の案内チラシ)



(特別展における来場者の様子)



## 2-4. 他機関等からの見学受入れ

- ・ 他機関等からの見学(視察)が3機関28名あり、その内訳は下表のとおり。

令和元(平成31)年度における見学の受入れ状況

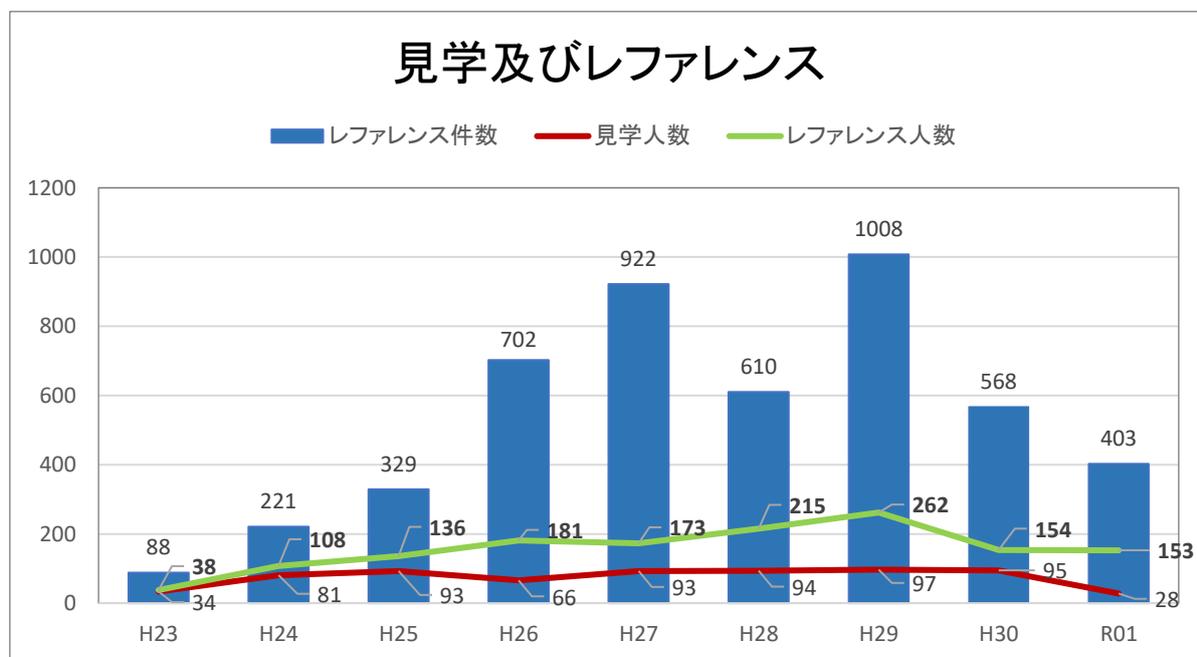
年月日	大学文書史料室を見学した機関	見学者数
R01.07.19(金)	東京大学文書館(教員1名)	1名
R01.10.29(火)	神戸大学文学部講義「文化財学」(教員1名、受講生約25名)	26名
R02.03.16(月)	宮崎大学(教員1名)	1名
合計		3機関28名

## 2-5. レファレンス対応

- ・ 学内外からの各種照会(主に調査相談)は、403件(前年度比71%)、153名(前年度比99%)あり、それぞれ情報提供を行った。

令和元(平成31)年度におけるレファレンス活動

対象		件数(人数)	対象		件数(人数)
本学	教員	15件(11名)	他 大 学 一 般	教員	41件(20名)
	教員以外の職員	202件(61名)		教員以外の職員	2件(2名)
	学生	13件(7名)		学生	3件(2名)
	旧教員	3件(3名)		マスコミ関係	20件(7名)
	旧教員以外の旧職員	2件(1名)		その他(周辺住民等)	32件(19名)
	卒業生	66件(16名)		合計	403件(153名)
	関係諸団体(同窓会等)	4件(4名)			



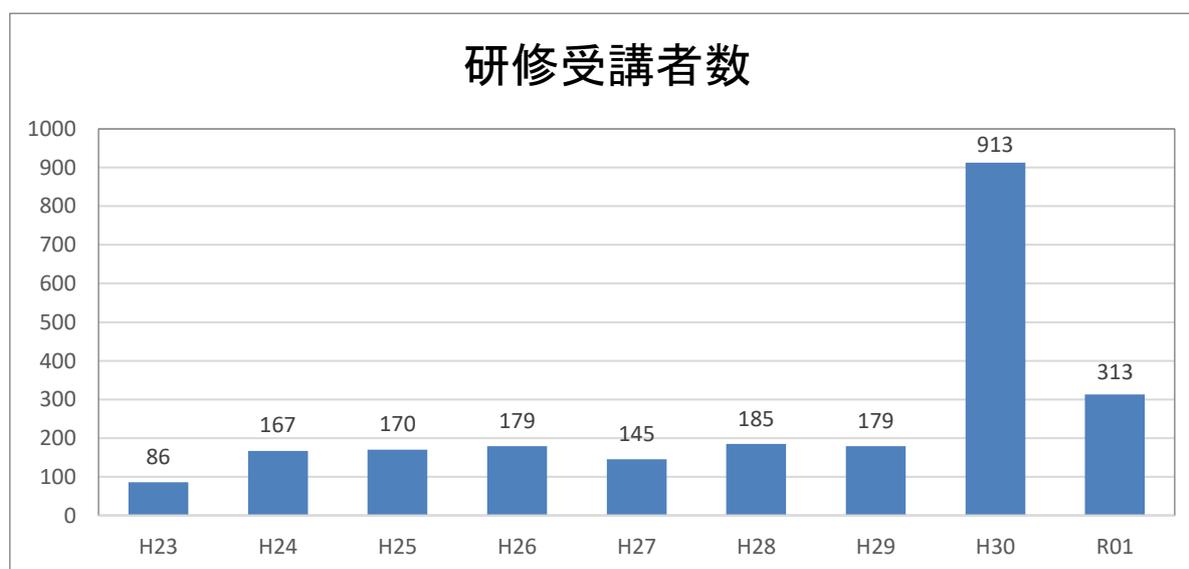
### 3. 研修その他

#### 3-1. 研修の実施

- 公文書管理法第 32 条に基づき、本学職員及び大学文書史料室員に対して、次の研修を実施した。なお、平成 30 年度より開始した全教職員対象の法人文書管理研修(e-ラーニング)において、令和元(平成 31)年度より初めて理解度テスト「ケーススタディ(事例演習)」を導入した。この研修は総務部総務課との共催であり、大学文書史料室は主に教材の作成を担当した。

令和元(平成 31)年度における研修実施の内容

研修名	対象者	テーマ・内容	開催日	受講者数	備考
新任教職員研修 (講師派遣)	神戸大学の新任教職員	神戸大学法人文書管理について	H31.04.09(火)	83 名	総務部人事課主催
法人文書管理研修(e-ラーニング)	神戸大学の ①事務系職員 ②教員 ③文書管理者及び文書管理担当者	各対象者向けに下記3つの教材を使用 ①神戸大学における法人文書管理業務の全般的な内容 ②教員文書の管理に関する内容 ③適正な文書管理を確保する実施責任者向けの内容(内閣府作成の汎用教材を使用)	R01.12.26(木) より年度内	219 名 (うち③ 67 名)	総務部総務課との共催 理解度テスト「ケーススタディ(事例演習)」を導入
大学文書史料室研修	大学文書史料室の職員	①京都市学校歴史博物館の見学 ②京都大学大学文書館の見学 ③水損資料の処置について(動画視聴)	①R01.07.04(木) ②R01.07.10(水) ③R01.07.26(金)	① 4 名 ② 3 名 ③ 4 名	大学文書史料室利用等要項 30 条 1 項の規定に基づく室員研修



## 3-2. その他

### ● 内閣総理大臣への平成 30 年度状況報告

令和元年 7 月 19 日付け神大史室第 1-1-1 号により、「平成 30 年度特定歴史公文書等の保存及び利用の状況」を内閣総理大臣に報告した。本件は、公文書管理法第 26 条第 1 項に規定する報告の義務に基づく。なお、本報告の概要は、令和 2 年 3 月に内閣府大臣官房公文書管理課から「平成 30 年度における公文書等の管理等の状況について」として公表された。

### ● 令和元年度全国公文書館長会議への参加

国立公文書館主催「令和元年度全国公文書館長会議」(令和元年 6 月 7 日開催)に室長及び室員が出席し、「アーキビスト認証制度創設に向けた課題と展望」をテーマに意見交換を行った。会議の成果は「アーキビスト認証制度創設に取り組む基本的考え方」(令和元年 6 月全国公文書館長会議)として取りまとめられた。

### ● 規則等の改正

神戸大学の情報公開に係る事務の所掌が企画部から総務部へ移行したため大学文書史料室運営委員会の構成員を見直すことに伴い、同運営委員会細則について所要の改正を行った(平成 31 年 3 月 29 日改正、4 月 1 日施行)。また、不正競争防止法等の一部を改正する法律(平成 30 年法律第 33 号)の施行(令和元年 7 月 1 日)に即応して、神戸大学大学文書史料室利用等要項について所要の改正を行った(同年 6 月 28 日改正、7 月 1 日施行)。

### ● 法人文書管理状況監査への同行

総務部総務課が実施する令和元年度法人文書管理状況監査に可能な限り積極的に同行(4 回)し、本学における文書管理状況の把握に努め、問題点の共有を図ると共に、法人文書管理研修の教材改善に反映させた。

### ● 調査研究への協力

次の学外 2 機関からの依頼に応じて、本学の歴史に関する調査研究にそれぞれ協力し、各機関の展示・テレビ番組制作等への支援を通じて本学情報の発信に貢献した。

- ①愛媛県内子町内子自治センター主催の開館 15 周年記念特別企画展「高畑誠一の軌跡を辿るーカイザー(皇帝)と呼ばれた男ー」(令和元年 11 月 1 日ー12 月 8 日開催)において本学出身の高畑誠一に関する史料調査に協力した。
- ②テレビ朝日「特捜 X 実録映像コップ」(令和元年 8 月 14 日放送)の番組制作のための学徒出陣壮行会に関する史料調査に協力した。

### ● 寄稿

利用者支援及び広報の充実を図るため、執筆依頼に応じて史料の調査研究を実施し、本学広報誌 2 回、同窓会誌 4 回、他機関発行誌 1 回への寄稿を次のとおり実施した。

- ①「神戸大学学歌の誕生についてー大学文書史料室から(30)ー」  
(同窓会誌『凌霜』第 421 号、神戸大学凌霜会、平成 31 年 4 月、20-21 頁)
- ②「「商大」は商業大学か？商科大学か？ー大学文書史料室から(31)ー」  
(同窓会誌『凌霜』第 422 号、神戸大学凌霜会、令和元年 7 月、18-19 頁)
- ③「「神大」ヒストリー 兼松房治郎と兼松記念館」  
(広報誌『風』Vol.13、神戸大学総務部広報課、令和元年 7 月、2 頁)
- ④「神戸大学紛争で中止になった卒業式(1)ー大学文書史料室から(32)ー」  
(同窓会誌『凌霜』第 423 号、神戸大学凌霜会、令和元年 10 月、38-39 頁)
- ⑤「「神大」ヒストリー 社会科学系図書館」  
(広報誌『風』Vol.14、神戸大学総務部広報課、令和元年 12 月、2 頁)
- ⑥「神戸大学紛争で中止になった卒業式(2)ー大学文書史料室から(33)ー」  
(同窓会誌『凌霜』第 424 号、神戸大学凌霜会、令和 2 年 1 月、20-21 頁)
- ⑦「(特集)高畑誠一 高畑に学ぶ夢のつかみ方」  
(『広報うちこ』第 268 号、愛媛県内子町、令和 2 年 2 月、8 頁)

## ● 神戸大学沿革図の作成

- ①『学生生活案内 2019 年』(学務部、平成 31 年 4 月刊)掲載の本学沿革図を作成した。
- ②『神戸大学大学概覧 2019』(総務部広報課、令和元年 7 月刊)掲載の本学沿革図を作成した。

## ● 学内記念事業への協力

- ①附属学校部創立 10 周年記念パネル展示(令和元年 8 月 6 日-9 月 30 日開催)の作成に協力した。
- ②医学部医学科創立 75 周年・神戸病院創立 150 周年記念歴史パネル展示(令和元年 9 月 1 日記念式典、10 月 26 日ホームカミングデーにて開催)の作成に協力した。
- ③経済経営研究所 100 周年記念連続シンポジウムにおける記念展示(令和元年 9 月 6 日開催)の作成に協力した。
- ④経済経営研究所 100 周年記念誌『100 年のあゆみ』(令和元年 9 月 30 日刊行)の作成に協力した。
- ⑤経済経営研究所 100 周年記念事業『水島鍊也校長卒業生推薦書全集』(全 6 巻、令和元年 10 月 1 日刊行)の作成に協力した。
- ⑥文学部創立 70 周年記念同窓会誌(令和元年 9 月 30 日刊行)の作成に協力した。
- ⑦工学部 100 周年記念事業「募金趣意書」(令和元年 10 月)の作成に協力した。

## ● 大学史及びアーカイブズ学関連講義への講師派遣

神戸大学の歴史及びアーカイブズ学に係る次の講義に協力して講師を派遣した(大学史講義 5 回、アーカイブズ学講義 2 回)。

- ①総合教養科目「神戸大学史A・B」講義への講師派遣(前期 5 回)
- ②文学部専門科目「地域歴史遺産保全活用基礎論A」講義への講師派遣(前期 1 回)
- ③文学部専門科目「文化財学・博物館資料保存論」講義への講師派遣(後期 1 回)

## ● 講演会への講師派遣

神戸大学の歴史に係る次の講演会に講師を派遣した(学内 2 回、学外 4 回)。

- ①神戸大学経済経営研究所 100 周年記念連続シンポジウム「神戸高商のグローバル人材育成とキャリア支援」(令和元年 9 月 6 日開催、講演テーマ「神戸大学所蔵史料から見た神戸高商と鈴木商店」及びパネルディスカッション「グローバル人材育成とキャリア支援—神戸高商時代と今」)にもパネリストとして登壇、会場:神戸大学出光佐三記念六甲台講堂、参加者約 100 名)
- ②神戸市主催「女性研究者から見た鈴木商店」シンポジウム(令和元年 9 月 21 日開催、講演テーマ「高商出身者と鈴木商店」、会場:神戸ポートオアシス、参加者約 90 名)
- ③神戸大学昭和 44 年卒業 50 周年記念同窓会実行委員会主催「50 年目の卒業式」(令和元年 10 月 27 日開催、講演テーマ「神戸大学の今・昔」、会場:神戸大学出光佐三記念六甲台講堂、参加者 172 名)
- ④第 5 回凌霜会関西職域担当者懇談会(令和元年 12 月 3 日開催、講演テーマ「知っていますか?こんな六甲台」、会場:神戸大学学友会大阪クラブ・大阪凌霜クラブ、参加者 28 名)
- ⑤愛媛県内子町内子自治センター開館 15 周年記念シンポジウム「高畑誠一の軌跡を辿る」(令和元年 12 月 8 日開催、講演テーマ「神戸高商時代の高畑誠一」、会場:内子座(愛媛県内子町)、参加者 180 名)
- ⑥神戸大学学友会下関支部設立総会・懇談会(令和 2 年 1 月 22 日開催、講演テーマ「知っていますか?神戸大学の昔と今」、会場:シーモールパレス(山口県下関市)、参加者 17 名)

## ● 利用制限情報に関する調査研究

業務の効率化・標準化を進めるため、当室所蔵の特定歴史公文書等に含まれる「個人に関する情報」等の利用制限情報の類型について調査研究を行い、研究成果を論文化した(論文題目:「大学文書館における個人情報の利用審査に係る実務マニュアルの試案について—神戸大学特定歴史公文書等に含まれる「個人に関する情報」の類型を踏まえて—」、掲載誌:『令和元年度アーカイブズ研修Ⅲ修了研究論文集』国立公文書館、令和 2 年 10 月、33-65 頁)。

## ● 寮歌祭への参加

第 33 回洛陽寮歌祭(令和元年 5 月 18 日開催)に参加して、旧制前身校同窓会との交流を深めた。

## 沿革

2010(平成 22)年 4 月 1 日	神戸大学附属図書館大学文書史料室設置
2010(平成 22)年 4 月 1 日	旧百年史編集室主催の神戸大学史常設展(百年記念館 1 階展示ホール)を継承
2010(平成 22)年 10 月	特別展「神戸大学と戦争—終戦 65 周年記念—」を開催(10 月 25 日-11 月 5 日) (以後、毎年度テーマを変更して特別展開催)
2011(平成 23)年 4 月 1 日	「国立公文書館等」の政令指定を受ける
2011(平成 23)年 4 月 1 日	一般利用開始
2011(平成 23)年度	全学対象の移管受入れを開始(以後、毎年度定期的に実施)
2018(平成 30)年 4 月 1 日	神戸大学大学文書史料室に改組

## 歴代大学文書史料室長

福長 進 (人文学研究科教授、附属図書館副館長)	平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日
大塚 裕史 (法学研究科教授、附属図書館副館長)	平成 23 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日
木下 資一 (国際文化学研究科教授、附属図書館副館長)	平成 25 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
大津留 厚 (人文学研究科教授、附属図書館副館長)	平成 27 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
浅野 慎一 (人間発達環境学研究科教授、附属図書館副館長)	平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
中野 俊一郎 (法学研究科(法科大学院)教授)	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 9 月 30 日
小野 博司 (法学研究科教授)	令和 2 年 10 月 1 日～現在

## 令和元(平成 31)年度 評価と課題

令和元(平成 31)年度は、附属学校部創立 10 周年、文学部創立 70 周年、医学部医学科創立 75 周年、神戸病院創立 150 周年、経済経営研究所創立 100 周年等の学内記念事業(記念誌刊行、歴史展示、シンポジウム開催等)に積極的に協力すると共に、全教職員対象の法人文書管理研修(e-ラーニング研修、総務部総務課共催)における理解度テスト「ケーススタディ(事例演習)」の導入、喫緊の課題であった利用審査業務の効率化・標準化を進めるため利用制限情報に関する調査研究を行った。また、政令指定機関としての法的義務を全うするため、歴史公文書等の受入れ、目録入力、利用請求の対応、展示活動、職員研修、電子化事業、内閣総理大臣への状況報告、見学受入れ等を実施すると共に、学内外の各種事業、大学史等関連授業、大学広報、同窓会活動等に協力して資料調査、講師派遣、寄稿、講演、マスコミ対応等を行った。

なお、今後の課題としては、書庫収蔵スペースの狭隘化の改善、書庫等環境管理の見える化、電子文書の受入れ・長期保存・利活用に向けた整備、利用審査業務の効率化・標準化、歴史公文書等の評価選別基準の見直しに向けた検討、多言語対応を含む効果的な展示の工夫、展示物の複製化、e-ラーニング研修教材の充実、利用支援のオンライン対応等が挙げられる。

## 神戸大学大学文書史料室概要（令和2年4月1日）

- (1) 名称： 神戸大学 大学文書史料室（英文名 Kobe University Archives）
- (2) 住所： 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学百年記念館1階
- (3) 設立： 平成22年4月1日
- (4) 政令指定： 平成23年4月1日（内閣総理大臣指定「国立公文書館等」）
- (5) 目的： 「大学文書史料室は、特定歴史公文書等（公文書等の管理に関する法律（平成21年法律第66号）第2条第7項に規定する特定歴史公文書等のうち、大学文書史料室に移管され、又は寄贈され、若しくは寄託されたものをいう。）その他本学の歴史に係る資料を保存するとともに、一般の利用に供することを目的とする。」（「神戸大学の室に関する要項」第54条）
- (6) 延床面積： 243㎡（内訳：閲覧スペース12㎡、事務室19㎡、作業室28㎡、書庫102㎡、展示ホール63㎡、観覧スペース19㎡）
- (7) 職員数：

兼任教員（室長（法学研究科教授））	1名
専任職員（室長補佐（主任政策研究職員））	1名
事務員（再雇用職員）	1名
事務補佐員（週30時間）	1名
事務補佐員（週12時間）	1名
- (8) 所蔵文書： 目録登録総数58,621件（内訳：特定歴史公文書等55,027件（移管42,368件、寄贈12,659件）、参考図書3,594件） 代表的な収蔵文書は下記のとおり。

### ○前身学校

- ・旧制神戸高等商業学校文書（明治35年～昭和4年） 約1000点
- ・旧制神戸商業大学文書（昭和4年～昭和19年） 約1200点
- ・旧制神戸経済大学文書（昭和19年～昭和27年） 約400点
- ・旧制姫路高等学校文書（大正13年～昭和24年） 約300点
- ・旧制神戸高等工業学校・工業専門学校文書（大正10年～昭和26年） 約700点 など

### ○神戸大学

- ・神戸大学設置関係文書（昭和20年代） 約10点
- ・神戸大学学報（昭和25年～平成7年） 約500点
- ・神戸大学評議会議事録（昭和24年～昭和50年代） 約40点
- ・県立大学国立移管関係文書（昭和30、40年代） 約20点
- ・旧姫路分校文書（昭和20、30年代） 約200点
- ・旧御影分校文書（昭和20、30年代） 約400点 など

### ○個人・団体

- ・旧制神戸商業大学初代学長田崎慎治旧蔵文書 約120点
- ・旧制神戸商業大学予科同窓会凌霜思誠会旧蔵文書等 約200点
- ・旧制兵庫県明石女子師範学校同窓会明玉会旧蔵文書等 約200点 など



令和 3 年 1 月

神戸大学大学文書史料室

<https://lib.kobe-u.ac.jp/archives/>      [archives@lib.kobe-u.ac.jp](mailto:archives@lib.kobe-u.ac.jp)